

卵巣嚢腫茎捻転開腹術 患者さんパスシート (No.1)

| | |
|----|--|
| 氏名 | |
|----|--|

| | | | |
|--------|-------|---|---|
| 診療科名 | 女性診療科 | | |
| 入院予定期間 | 年 | 月 | 日 |
| | 年 | 月 | 日 |

| | |
|------|--|
| 月日 | / |
| 経過 | 入院1日目 (入院当日～手術入室) |
| 達成目標 | <ul style="list-style-type: none"> 手術について理解しましょう。 手術に必要な物品を準備しましょう。 麻酔について理解しましょう。 痛みや吐き気など苦痛がある場合は我慢せず、医師や看護師に伝えましょう。 手術当日はベッドの上で安静にしましょう。 |
| 観察 | <ul style="list-style-type: none"> 検温を行います。 |
| 薬 | <ul style="list-style-type: none"> お薬を内服されている方は、医師・薬剤師が確認し、内服継続するかどうか確認します。 |
| 処置 | <ul style="list-style-type: none"> 処置室で診察を行います。 手術室で麻酔科の医師から麻酔についての説明があります。 オリーブ油でお臍の掃除と、手術部位の不要な毛の処理を行います。 |
| 排泄 | <ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 |
| 活動 | <ul style="list-style-type: none"> 手術まで安静に過ごしましょう。 |
| 食事 | <ul style="list-style-type: none"> 手術になりますので入院後は禁飲食になります。 看護師が最終飲水と最終食事について確認致します。 |
| 清潔 | <ul style="list-style-type: none"> 爪は短く切り、ネイルをされている方は必ず外しておいてください。 ジェルネイルの方はご相談ください。 |
| 説明指導 | <ul style="list-style-type: none"> 手術で必要なものを準備していただきます。 ①ゆかた②バスタオル③T字帯④腹帯1枚⑤大きめのナプキン1個⑥弾性ストッキング *①～⑤はご自身で準備をお願いいたします。 ⑥は入院後看護師がサイズを図り、お渡しします。 手術室の入室時間が決りましたら、手術室に向かう時、浴衣、弾性ストッキングを着用してください。その際、肌着は脱いで、浴衣、下着、弾性ストッキングを着用していきます。 時計、入れ歯、指輪、眼鏡など体から外せるものは全て外してください。 貴重品は金庫に入れてください。 |

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

卵巣嚢腫茎捻転開腹術 患者さんパスシート (No.2)

| | |
|----|--|
| 氏名 | |
|----|--|

| | |
|--------|-------|
| 診療科名 | 女性診療科 |
| 入院予定期間 | 年 月 日 |
| | 年 月 日 |

| | |
|------|--|
| 月日 | / |
| 経過 | 入院当日：手術室から帰室直後 |
| 達成目標 | <ul style="list-style-type: none">痛みや吐き気など苦痛がある場合は我慢せず、医師や看護師に伝えましょう。手術当日はベッドの上で安静にしましょう。 |
| 観察 | <ul style="list-style-type: none">吐き気・お腹の痛み・出血がないか確認します。体温、血圧、脈拍を測ります |
| 薬 | <ul style="list-style-type: none">手術後、水分補給の点滴と抗生物質の点滴を行います。内服薬は中止になります。 |
| 処置 | <ul style="list-style-type: none">手術後は酸素マスクをつけます。両足に血栓予防の機械を装着します。背中に痛み止めが入った管（硬膜外カテーテル）が入ってくる場合があります。 |
| 排泄 | <ul style="list-style-type: none">排便時はベッドの上で便器を使用します。尿の管が入ってきます。違和感が強いときは看護師にお伝え下さい。 |
| 活動 | <ul style="list-style-type: none">手術後はベッドで戻ります。手術当日はベッド上安静となります。寝返りは看護師がお手伝いしますのでお知らせください。 |
| 食事 | <ul style="list-style-type: none">手術当日は食事・水分を摂ることができません。 |
| 清潔 | <ul style="list-style-type: none">看護師介助のもと、洗面を行います。 |
| 説明指導 | <ul style="list-style-type: none">痛みや吐き気がある場合はお薬が使用できますので、我慢せず看護師にお知らせください。 |

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

卵巣嚢腫茎捻転開腹術 患者さんパスシート (No.3)

| | |
|----|--|
| 氏名 | |
|----|--|

| | | | |
|--------|-------|---|---|
| 診療科名 | 女性診療科 | | |
| 入院予定期間 | 年 | 月 | 日 |
| | 年 | 月 | 日 |

| | |
|------|---|
| 月日 | / |
| 経過 | 入院2日目(手術1日目) |
| 達成目標 | <ul style="list-style-type: none"> 手術、入院生活について理解しましょう。 転倒・転落予防について理解しましょう。 痛みや苦痛・体調に変化がある場合は我慢せず、医師や看護師に伝えましょう。 腸の動きを良くするために起き上がり、トイレまで歩行しましょう。 |
| 観察 | <ul style="list-style-type: none"> 吐き気・お腹の痛み・出血がないか確認します。 体温、血圧、脈拍を測ります。 |
| 薬 | <ul style="list-style-type: none"> 医師の指示のもとで内服薬の開始となりますので看護師よりお伝え致します。 点滴を24時間かけて行います。 抗生剤の点滴を朝・夕に行います。 |
| 処置 | <ul style="list-style-type: none"> 弾性ストッキングは退院まで着用となります。 足の機械は歩けるようになったら外します。 背中に痛み止めの管が入っている場合、午前中に管を抜きます。 起床後に採血を行います。 |
| 排泄 | <ul style="list-style-type: none"> 看護師と共にトイレまで歩き、歩行が可能であれば尿の管を抜きます。 尿は全てカップで計測してください。(術後3日目まで) |
| 活動 | <ul style="list-style-type: none"> 初回の歩行は転倒防止のため、看護師と一緒に歩きます。 めまいやふらつきがなければ一人で病棟内を歩行できます。 |
| 食事 | <ul style="list-style-type: none"> 朝から飲水のみ開始となります。(はじめは看護師とむせこみがないかを確認します) 朝は禁食となりますが、昼食から重湯が開始、夕食は五分粥となります。 |
| 清潔 | <ul style="list-style-type: none"> 蒸しタオルで体拭きを行います。 点滴などの管がありますので看護師がお手伝いいたします。 |
| 説明指導 | <ul style="list-style-type: none"> 吐き気やお腹の痛みがある時は看護師をお呼びください。 手術後であり体力の低下も伴う為、転びやすくなっています。 ふらつく場合は看護師が付き添いますのでお呼びください。 |

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

卵巣嚢腫茎捻転開腹術 患者さんパスシート (No.4)

| | |
|----|--|
| 氏名 | |
|----|--|

| | |
|--------|----------------|
| 診療科名 | 女性診療科 |
| 入院予定期間 | 年 月 日 年 月 日 |

| | |
|------|---|
| 月日 | / |
| 経過 | 入院3日目（手術後2日目） |
| 達成目標 | <ul style="list-style-type: none"> • 痛みや苦痛・体調に変化がある場合は我慢せず、医師や看護師に伝えましょう。 • 起き上がり、歩行しましょう。 • 転倒・転落予防について理解しましょう。 |
| 観察 | <ul style="list-style-type: none"> • 傷口からの出血・膣からの出血を確認します。 • 痛みや吐き気の有無、お腹の動きを確認します。 |
| 薬 | <ul style="list-style-type: none"> • 水分補給のための点滴をします。点滴が終わりましたら点滴の針は抜きます。 • 内服薬に関しては医師の指示に従ってください。 |
| 排泄 | <ul style="list-style-type: none"> • 制限はありません。尿をカップで測定してください。 （昨日歩行できなかった方は、トイレ歩行ができれば尿の管を抜きます。） • 術後、便が2日出ていない場合は緩下剤の坐薬や内服を使用します。 |
| 活動 | <ul style="list-style-type: none"> • 術後1日目に歩行可能となっていれば制限はありません。 • 術後1日目に歩行できなかった方は、看護師と一緒に歩行します。 |
| 食事 | <ul style="list-style-type: none"> • 朝から全粥、昼食から常食となります。 |
| 清潔 | <ul style="list-style-type: none"> • 蒸しタオルで体拭きを行います。 • 点滴などの管がありますので看護師がお手伝いいたします。 |
| 説明指導 | <ul style="list-style-type: none"> • 吐き気やお腹の痛みがある時は看護師をお呼びください。 • 手術後であり体力の低下も伴うため、転びやすくなっています。 • ふらつく場合は看護師が付き添いますのでお呼びください。 |

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

卵巣嚢腫茎捻転開腹術 患者さんパスシート (No.5)

| | |
|----|--|
| 氏名 | |
|----|--|

| | | | |
|--------|-------|---|---|
| 診療科名 | 女性診療科 | | |
| 入院予定期間 | 年 | 月 | 日 |
| | 年 | 月 | 日 |

| | |
|------|--|
| 月日 | / |
| 経過 | 入院後4日目（術後3日目） |
| 達成目標 | <ul style="list-style-type: none"> 痛みや苦痛・出血・お体の具合に変化がある場合は我慢せず、医師や看護師に伝えましょう。 起き上がり、トイレまで歩行しましょう。 転倒・転落予防について理解しましょう。 |
| 観察 | <ul style="list-style-type: none"> 傷口からの出血・膣からの出血を確認します。 痛みや吐き気の有無、お腹の動きを確認します。 |
| 処置 | <ul style="list-style-type: none"> 起床時に採血を行います。 |
| 排泄 | <ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。尿をカップで測定が終了となります。 術後排便がない方は看護師にお知らせください。 |
| 活動 | <ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 |
| 食事 | <ul style="list-style-type: none"> 昼から常食となります。 |
| 清潔 | <ul style="list-style-type: none"> 蒸しタオルで体拭きを行います。 |
| 説明指導 | <ul style="list-style-type: none"> 吐き気やお腹の痛みがある時は薬を使用できますので、看護師をお呼びください。 転ばないように注意して歩きましょう。 |

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

卵巣嚢腫茎捻転開腹術 患者さんパスシート (No.6)

| | |
|----|--|
| 氏名 | |
|----|--|

| | |
|--------|-------|
| 診療科名 | 女性診療科 |
| 入院予定期間 | 年 月 日 |
| | 年 月 日 |

| | |
|------|---|
| 月日 | / |
| 経過 | 入院後5日目(術後4日目) |
| 達成目標 | <ul style="list-style-type: none">痛みや苦痛・お体の具合に変化がある場合は我慢せず、医師や看護師に伝えましょう。積極的に院内を歩行しましょう。転倒・転落予防について理解しましょう。 |
| 観察 | <ul style="list-style-type: none">傷口からの出血・膣からの出血を確認します。痛み・吐き気の有無、お腹の動きを確認します。 |
| 排泄 | <ul style="list-style-type: none">制限はありません。尿カップでの測定は終了となりますが、尿や便の回数を伺います。術後排便のない方は看護師へお知らせください。 |
| 活動 | <ul style="list-style-type: none">制限はありません。 |
| 食事 | <ul style="list-style-type: none">制限はありませんが、暴飲暴食は避け消化の良いものを摂取しましょう。 |
| 清潔 | <ul style="list-style-type: none">傷を確認し、問題がなければシャワー浴が開始となります。(傷口はこすらずに石鹸を泡たてて優しく洗いましょう) |
| 説明指導 | <ul style="list-style-type: none">吐気やお腹の痛みがある時は看護師をお呼びください。転ばないように、注意して歩きましょう。 |

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

卵巣嚢腫茎捻転開腹術 患者さんパスシート (No.7)

| | |
|----|--|
| 氏名 | |
|----|--|

| | |
|--------|-------|
| 診療科名 | 女性診療科 |
| 入院予定期間 | 年 月 日 |
| | 年 月 日 |

| | |
|------|---|
| 月日 | / |
| 経過 | 入院後6日目（術後5日目～退院日） |
| 達成目標 | <ul style="list-style-type: none"> 痛みや苦痛・お体の具合に変化がある場合は我慢せず、医師や看護師に伝えましょう。 積極的に院内を歩行しましょう。 転倒・転落予防について理解しましょう。 退院後の生活について理解しましょう。 |
| 観察 | <ul style="list-style-type: none"> 傷口からの出血・膣からの出血を確認します。 痛み・吐き気の有無、お腹の動きを確認します。 |
| 排泄 | <ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 尿カップでの尿量測定は終了となりますが、尿や便の回数を伺います。 術後排便のない方は看護師へお知らせください。 |
| 活動 | <ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 |
| 食事 | <ul style="list-style-type: none"> 制限はありませんが、暴飲暴食をさけ消化に良いものを摂取しましょう。 |
| 清潔 | <ul style="list-style-type: none"> 傷口はこすらずに石鹸を泡たてて優しく洗いましょう |
| 説明指導 | <ul style="list-style-type: none"> 吐気やお腹の痛みがある時は看護師をお呼びください。 転ばないように、注意して歩きましょう。 退院後の外来診察日について説明をします。 保険などの書類は退院日に本館1階中央受付Aに提出して下さい。（ただし、退院日が日曜日・祝日の場合は前日に提出して下さい。） 別紙「退院後の生活について」を使って退院後の注意点のご説明をします。 |

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

退院後の生活について

- ①退院後は家庭内での生活は普段通りに送ることができますが、次回の外来までは自転車、運動などでかんだり、腹圧のかかる動作は控えましょう。
- ②食事は特に制限はありませんが、暴飲暴食は避け、規則正しくバランスのとれた食事を心がけましょう。
- ③傷に貼っているテープは、次第に剥がれてくるので無理に剥がさないようにしましょう。シャワー浴の時は傷を強くこすらずに、泡を立ててやさしくなでるように洗いましょう。
※退院後は次回外来までは、感染予防のためシャワー浴のみになります。
外来時の状態を診て、医師より湯船に入っているかの許可がでます。
- ④手術後は腸の動きが鈍くなり便秘になりやすいため、適度な運動を行い繊維質の物を多く取るようにしましょう。
- ⑤性生活は次回外来までは禁止です。受診時に医師に確認しましょう。
- ⑥内服薬は入院中と同じように内服してください。退院後に始まる薬がある場合は退院時にお伝えします。

* 緊急時の対応 *

- 38度以上の熱が出る
- 強い腹痛がある
- お腹が張って吐き気が強い
- 通常の生理以上の出血がつづく

上記のような症状がある時は早めに受診してください。
不明な点等がありましたら、医師・看護師にご相談ください。

連絡先

日本医科大学付属病院（代表） 03-3822-2131
女性診療科外来（内線） 3311、3312